

зизо зифдди зноухбfnюи нѳзи зиф

дпбfnюб.диззгнзнцѳ

目次

はじめに	1
いろいろなリパライン語	1
文字と読み方	ㄱ
ㅏ 母音字	ㄱ
ㅑ 子音字	ㄱ
₩ 記号類	ㄱ
1 注意が必要な文字	ㅇ
ㄱ 二重子音	ㅇ
ㅇ 三重子音	ㅇ
ㅌ 強弱子音と軟子音	ㅌ
ㅍ その他の発音規則	ㅌ
ㅓ アクセント	ㅍ
ㅓ0 イントネーション	ㅍ
ㅓㅓ その他	ㅍ
ㅓ 第1課 -ㅓㅓ ㅓㅓㅓㅓ-	ㅇ
ㅓ-ㅓ 人称代名詞	ㅇ
ㅓ-ㅑ コピュラ動詞 ㅓㅓ	ㅓ0
ㅓ-₩ 呼格	ㅓ0
ㅓ-1 平叙疑問文	ㅓ0
ㅓ-ㄱ 挨拶表現	ㅓ0
ㅑ 第2課 -ㅑㅓ ㅓㅓㅓㅓ-	ㅓㅓ
ㅑ-ㅓ ㅓㅓ, ㅓ	ㅓㅓ
ㅑ-ㅑ 存在動詞 ㅓㅓ	ㅓㅓ

᠑-᠙ 相位詞	ΓΓ
᠑-᠒ 属格	Γ᠑
᠑-᠔ 勧誘の助動詞 зүзэ	Γ᠑
᠙ 第 3 課 -᠙иᠠ збидүн᠓э-	Γ᠙
᠙-Γ 緩衝音	Γ᠙
᠙-᠑ クラス	Γ᠙
᠙-᠙ 接尾辞 -᠔᠔	Γ᠒
᠙-᠒ 接続詞 бш, бшнн	Γ᠒
᠙-᠔ 疑問詞を使った疑問文	Γ᠒
᠒ 練習問題	Γ᠔

はじめに

リパライン語を学ぼうとするみなさんに向けて、従来の教科書の項目から基本的なリパライン語を操るのに必要な最小限の文法事項を抽出したテキストを作りました。シャリヤやエレナたちの会話の中で用いられる表現に触れながら、リパライン語の魅力に親しんでいきましょう。

いろいろなリパライン語

リパライン語は、リパラオネ人たちの間で用いられる言語です。更にファルトクノアやデュイン地域をはじめとするさまざまな領域・世界に広まっている言語でもあり、発音差や方言などが豊富に存在します。本書ではその中でも標準語とされているフェーユ方言に基づいて学んでいきます。

また、現代リパライン語では、文語と口語という二つの文体が存在します。口語はいわゆる話し言葉と言われるもので、格接辞の省略や単語の遣い方などが比較的自由であり、少しくだけていると捉えられることもあります。それに対し文語は書き言葉といわれる、公文書や新聞などに用いられ、口語に比べると省略や語順に制限があるなどの違いがあります。

本書では口語を基本としつつ、よく見られる文語表現や注意点を紹介することを目標とします。

文字と読み方

x	/p/	ペー	ю	/n/	ネー	n	/i/	イー	Γ	1
ǣ	/ɸ/	ふえー	ɮ	/:/	れー	ɥ	/y/	シェノネン・ウー	ḡ	2
ṡ	/f/	フエー	з	/l/	レー	ɔ	/u/	ウー	⌘	3
и	/t/	テー	ɥ	/j/	イエー	ə	/o/	オー	ɹ	4
з	/s/	セー	o	/w/	ウエー	u	/e/	エー	ϑ	5
ṡ	/ʃ/	シェー	ð	/b/	メー	Б	/a/	アー	ð	6
п	/k/	ケー	ṡ	/β/	うえー	,		読点	ṡ	7
ɥ	/kw/	クエー	ṡ	/v/	ヴェー	.		句点	ɹ	8
c	/h/	ヘー	w	/d/	デー	i		感嘆符	ð	9
ɮ	/r/	れー	D	/z/	ゼー	ð		疑問符	0	0
и	/ts/	ツエー	п	/g/	ゲー	ɹ		アポストロフィ		
ð	/m/	メー	ṡ	/ʒ/	ジェー	'		アポストロフィ		

Γ 母音字

リパライン語には n, ɥ, ɔ, ə, u, Б の 6 つの母音字が存在します。

n ɔ ə u Б: 対応するローマ字と同じように発音します。

ɥ: 舌を下あご側の前歯の裏につけながら、口をすぼめて [ウ] と発音します。

ḡ 子音字

ペアになっている子音

無声子音: x ǣ ṡ и з п

有声子音: ð ṡ ṡ w D п

ペアをつくらない子音

無声子音: ɥ c 有声子音: ɥ ɮ ð ю ɮ з ɥ o ṡ

息だけでなく声も一緒にでる子音を有声子音と呼びます。発音しながらのどに触ると、声帯が震えているのがわかります。

⌘ 記号類

ɹ および ' は音声上の区切りを示します。ɹ や ð で述べる規則などによる発音の変化が起こらないように、区切って読むことを明示します。

1 注意が必要な文字

ʟ と ʀ は手書きされる際には区別されず同じ字で書かれることがあります。
本書では、より普及している書式に従い二つを区別せずともに ʟ で書くこととします。

- ɱ と ɲ、および ɳ と ɽ は明確に区別されます。ɱ、ɳ が下唇を軽く噛んで発音する(英語の f, v と同じ)のに対し、ɲ と ɽ は唇をかまずに唇の間から息を出すように発音されます。
- ʒ はサ行の音を表します。
- ɖ はザ行の音を表します。後ろに母音がない場合は ʒ と同じ無声音になります。
- ɟ はシャ行の音です。ロシア語の ѡ のようにそり舌で発音しますが、英語や日本語と同じように発音する場合もあります。ɟ は ɟ の有声音です。
- ɕ は一文字でクッという感じの音を表します。
- ʃ は巻き舌のら行の音を表します。ʒ と区別できるようにしましょう。
- ɸ はツァ行の子音です。
- ɣ はナ行の音ですが、母音字の後に来たときにも [ヌ] と発音します。日本語のように [ン] と読まないようにしましょう。
- ʟ は ʀ と異なり、単体での音をもたず、直前の母音を長く発音することを示します。
- ɥ はヤ行の子音を表します。

2 二重子音

古典リパライン語時代から引き継がれたり音韻的変遷を経たりして現代に残された、複数の子音で一つの音を表すいくつかの綴りが存在します。

- xɕ は x か ɱ のどちらかから、話者が好きな方を選択することができます。
- ɪɖ, ɖɕ は、それぞれ ɸ, ɟ に対応します。
- ɣɸ は、鼻音化した ɸ を示します。「やかん」の [ン] と同じ音です。
- ʒɕ は、チャ行の音を表します。
- ɪɕ は英語の th と同じく舌を軽くかんで発音する無声音です。有声音が ɰɕ です。
- ɲɕ は、寒くてかじかんだ手を温めるように発音するハ行の音を表します。
- ʃɖ は英語の ʟ と同じように接近音で発音します。
- ʟɖ は、直前の子音を長く発音してから ʒ と発音するか、ʃɖ と同じように発音するかを話者が好きな方を選択できます。

3 三重子音

ʃɲɕ は、ドイツ語やフランス語の r のようにのどを震わせるラ行の音です。

T 強弱子音と軟子音

リパライン語の母音は強母音と弱母音の二つに分けられます。強母音は **б, u, э** の3つで、弱子音は **n, ɲ, ɔ** の3つです。また、軟子音というものも存在し、これは **ɱ, ɱ̃, ɔc, ʒc** の4つを指します。

- **n** の後に母音が来るとき、**n** は **ɱ** の音になります。
nɔʒɛ [ユロ] ɱɛɱɱɱɱɱɱ [ヤヴナヴ]
- **ɲ** の後に母音が来た場合、**ɲ** が口をすぼめた **ɱ** の音になることがあります。
uɱɔʒɛɱ [エトゥリュオ] ɱɔɱɱɱɱɱɱ [ユエスレオネ]
- **ɔ** の後に母音が来た場合、**ɔ** が **o** の音になることがあります。
ɱɔɱɱɱ [トゥアン] ʒɔʒ [ルオ]
- **ɱ** の前後共に母音が来ない場合は、**n** で発音されます。
ɱɱɱɱɱɱɱɱɱɱ [アーテルダーリ] ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ツペネーニ]
- 母音の後に **n, ɔ** が来て、(間に **ɱ** が入っても良い) その後に **ɱ** が来ない場合は **ɱ, o** に変わって発音する場合があります。ただし、**nɔ, ɱɔ** の **ɔ** は **o** の音にはなりません。
ʒɱɱɱɱɱ [ライネフ] ɱɱɱɱɱɱ [パルタウ]
- 軟子音のあとに **n + 母音字** が来ると **n** が発音されない場合があります。
ɱɱɱɱɱɱ [ドゥシェン] ɱɱɱɱɱɱ [ピュシェン]
- 軟子音または **ɱ** の後ろに来た **ɱ** は **ɔ** で発音されます。
ɱɱɱ [シュー] ɱɱɱ [イユー]

T 1 その他の発音規則

ɱ と **ʒɱ** の綴りが文章の中に見られることは比較的多いため、これらに関する規則は重要といえます。

- **ɱ** が弱母音の後ろにつくときは、その弱母音は半母音化せず分けて発音されます。
ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ケートニアー] ~ ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ケートニャー]
ɱɱɱɱɱɱɱɱ [フィアンシャ] ~ ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ファンシャ]
 - **ɱɱ** の発音には、**ɱɱ** と **ʒɱ** の二種類が認められています。ただし、直後に母音が来ないときは必ず **ɱɱ** の発音となります。
ɱɱɱɱɱɱ [スュエルン / ズュエルン] ʒɱɱɱɱɱ [ルーズィル]
 - **ɱɱ, ɱɱ, ɱɱ, ɱɱɱ, ɱɱɱ** は **ɱ, ɱ, ɱ, ɱɱ, ɱɱ** の促音で読みます。
ɱɱɱɱ [ヨッシェ] ɱɱɱɱɱɱɱ [アンフェヤッツ]
 - ただし、**ʒɱ** は **ɱ** の促音ではありません。
ɱɱɱɱ [リスシャ] -ɱɱɱɱ [バスシュ]
-

ð アクセント

リパライン語のアクセントは一般には英語と同じ強弱アクセントとされており、

- 単語に音節が一つだけのとき：その母音
- 単語に音節が二つ以上あり長母音がないとき：後ろから二つ目の母音
- 単語に長母音があるとき：最初の長母音

にアクセントが置かれることとなっています。

юп [ニヴ] зуиу [セネ] зпюухбпю [リネパーイネ]

Γ0 イントネーション

特に強調する部分のない平叙文(疑問文や感嘆文でない「普通の」文)は、英語などと同様に平坦に読み、文末がやや下がります。疑問文では、文末が高くなって尻上がりになるように読めます。

ðп ир пбзпцб.

пжбпц ббпз ир пизбц

ΓΓ その他

リパーシェには大文字小文字という概念がなく、文頭や固有名詞の語頭もすべて同じように書かれます(ただしラテン字転写された状態では見やすさのために文頭などが大文字にされることがあります)。

リパライン語は、英語の SVO のような固定した文型がなく、語順の自由度が比較的高いという特徴が見られます。これを可能にしている仕組みは後に述べますが、今は「語順にいろんなパターンがある」ということを頭に入れて慣れることに専念してください。

練習問題

Γ) ббз, бц, пбз, зпф, хб, изп, пиз, зпф

Ð) зпцэи, ппихэц, эюпц, хбюжб, пбзц, джбюзз

Ф) збпиб, хпфюиз, зпф, пбпфюпфб, оуфзпфх, зпфп, пфп

Г 第1課 -Гии збу^ию^имэ-

Յո և՞ ԹԵՅՈՎ. Յո և՞ ՅՈՒԵՅՈՅ.

— ДБЗБҫБі

— ДБЗБГЭБ, изигүбдин.

зп иѡ иѡи҃юб. зп иѡ ѡи҃юб.

— тѢЗНЦБДИИ, ЗЭ ИД ДНЮСИՃ

— ԿԵ, ՊԵՅԱ.

Γ-Γ 人称代名詞

人称の違いを表す代名詞です。一人称は話し手、二人称は聞き手、三人称は会話に参加していない人やものを指します。四人称はリパライン語においては「全て」や「みんな」を表します。物称は直称代名詞とも呼ばれ、直接指さしすることができるものや場所に使います。文脈で使う「それ」や「あれ」は文脈指示を用います。

一人称	ᖅ
二人称	3э, ип
三人称	дп, 3п, юп
四人称	БЗД
物称	тэб, тпн
文脈指示	ЗБ зп, юп ЗБ зп

- 二人称は、通常は **3n** が用いられます。相手が話を聞いていないと思われる場合や、改めて相手に敬意を表す場合には **yn** を使います。
- 三人称の **dn**, **3n**, **yn** はそれぞれ「彼」「彼女」「(性別を指定しない) その人」に対応します。
- 物称の **mx**, **mxnt** はそれぞれ「これ、それ」「あれ」に対応します。距離が近ければ **mx** を、遠ければ **mxnt** を使います。
- 文脈指示の **3B 3um** はリパライン語の主要な特徴の一つともいえる代名詞で、話し言葉書き言葉ともに非常によく用いられる表現です。例えば「卵焼き作れる?」「ううん、あれ難しいよね」の「あれ」などは話の中に出てきたものなので **mx**, **mxnt** ではなく **3B 3um** で受けます。
- **yn 3B 3um** は指す範囲がそれより前でなく後ろになったもので、たとえば「彼はこういった。進軍せよ」との「こう」などに用いられます。

Γ-6 コピュラ動詞 ud

コピュラ動詞というのは英語の be 動詞にあたるもので、A ud B. で「A は B である」という文を作ることができます。B には形容詞や名詞が入ることができます。

зэ ud мэҕэюуҕ. 君は美しい。 dn ud дуһуһуһуһу. 彼はヴェフィス人だ。

Γ-8 呼格

リパライン語で何かに呼びかけるときは、名詞を呼格に変えて呼びます。呼格は名詞の後ろに呼格語尾 -дин をつけて作ります。

мэһуһу Шырыя (人名) ~ мэһуһудин Шырыяよ

Γ-1 平叙疑問文

「はい」「いいえ」で答えられる質問を平叙疑問文といいます。質問に対して肯定するときには ҕу を、否定するときには юһу を用います。

мэһу ud зһуһу — юһу, мэһу ud юһу. これは本当か? — いいえ、誤りです。

Γ-9 挨拶表現

比較的頻繁に用いられる表現の例を以下に挙げます。

- дэһуһу. こんにちは
- мэһу. ありがとう
- юһу. ごめんなさい
- бэһу ud юһу. どういたしまして
- мэһу бэ һуһу. また後で
- зһуһуһу иһуһу. おやすみなさい

このうち、最もよく使われるのが дэһуһу で、昼夜を問わず使えるほか出会った時にも別れる時にも使うことができます。親しい間柄ではくだけた言い方である дэһу もよく用いられます。より丁寧にしたい場合は表現の後に зэ を言うとよいでしょう。

この課の単語

мэһуһу	Шырыя (人名)	зһуһуһу	リパオネ人
уһуһу	エレナ (人名)	һуһу	友人
һуһу	良い、大丈夫だ	мэһуһу	美しい
дуһуһуһу	ヴェフィス人	зһуһу	真実
юһу	嘘、誤り		

9-2 属格

Յորէա Գրէքսի ու ԳրէքսԵ. 我的名前はフェリーサです。

3n 833 ԳԵՅ ՂԴՊ ՎԱԾԵՅ. 彼女は4階にいる。

9-2 勧誘の助動詞 3u3o

зузо ђnDD пюзэбю юэднзD. (私たちは)昼ごはんを食べよう。

この課の単語

юэ	今	дюзиеп	部屋
буиудиб	たぶん	пгбюиуиуэ	本
ингюу	～かしら (女性用の疑問相位詞)	юп	間違える
зэ	～かもしれない (相位詞)	бэд	すべての、あらゆる
збгб	人	пгпгэюуэ	遊ぶ
ббюпзэб	マニソマ (ラネーメの遊戯)	иипг	～とか、 など (後置詞)
дндюэз	今日	пэюизид	最初
шнрп	リング	ббпбин	マカティ (アイル共和国の首都)
пидипюу	大学	ипзпюу	終える、 仕上げる
пгп	ログイン、 チェックイン	бэдзэз	渡す
дюууу	食事	шэ	男性用の相位詞
пгизнгуэ	フェリーサ (人名)	эюп	パン
шудбз	階、 フロア	жидзиеюу	ユエスレオネ
пбюпбд	連邦	пюзэбю	食べる、 飲む
юэриэд	昼食		

⌘ 第3課 -⌘и збуиюнмэ-

- дэзбгэб, мбзпцбдин i
- бг, збуидин. дэзбгэб.
дп уд цбгэцбббп.збу. дп уд обгюиуиуиуи.
- сбгбп зэ зиипмэ
- мхбдинмэ мхббд уд обюиуиуи. зэ юзп обюиуиуи
- юп, бп зпмэ зб зум i
- мпзпмэ, бп цэцэцуд зб зпмэ бх обз.
- мбзп i

⌘-Г 緩衝音

これまで呼格辞 -дин や属格接辞 -лw で行ってきたように、リパライン語では単語に接辞を付ける作業が欠かせません。このとき、母音どうしが連続したり子音が連続したりすることがあります。

例えば、wnqnp に属格辞 -лw をそのまま付けると wnqnpлw になりますが、子音である п と w が連続するため、緩衝母音 -ɔ- を2つの間に入れることがあります(必須ではありません)。この緩衝音は、後述するクラスによって決定されます。

⌘-Г クラス

クラスは、単語の緩衝音を決定するための概念です。

最終音節の母音	クラス名	緩衝母音	緩衝子音
б(ɪ), э(ɪ)	紅クラス	-б-	-ɹ-
н(ɪ), u(ɪ)	蒼クラス	-u-	-ɪɪ-
ɔ(ɪ)	烏クラス	-ɔ-	-ɔ-
х(ɪ)	葵クラス	-п-	-з-

クラスは語形で機械的に決まります。例えば зпцэи であれば最終音節は -цэи であり、その母音は э のため、зпцэи は紅クラスの単語となります。同様に、зпюихбгпюи は蒼クラス、зпидио は烏クラス、юнихн は葵クラスとなります。

緩衝音は、リパライン語を理解するうえで最も重要になってくる要素の一つです。リパライン語では様々な接辞で派生語が作られますが、緩衝音の存在を頭に留めておかなければ語素に正しく分解することができません。まずは、数が多く出現頻度の高い紅クラスと蒼クラスから覚えるとよいでしょう。

⊗-⊗ 接尾辞 -DD

リパライン語の名詞は単数と複数を区別しませんが、接尾辞 **-DD** を付けることで多数性を明示することができます。

зпнбꙗзюиѣти пшшидиуд цэдюю. 無数の虫がわく。

⌘-2 接続詞 БШ, БШни

2つのものの並列を表すときには БШ を、3つ以上のときは БШни を使います。

᠔᠎ ᠮᠤᠪᠠᠨᠳᠤᠵᠢᠳᠢᠶᠠᠨᠨᠢᠭᠠᠨᠳᠤ. 私はお菓子とコーヒーを注文する。

дибтнэги нэ үзэс үнжэс бшн иэс, ижшнр. 箱の中には本とペンと紙がある。

8-2 疑問詞を使った疑問文

リパライン語にも、「何」や「どこ」をたずねる疑問詞が存在します。

сѣѣни	何	сѣѣэи	いつ	сѣѣюи	どこ
сѣѣбуи	誰	сѣѣѣи	なぜ	сѣѣи	どのような

疑問詞は文頭に置かれ、その後はたずねたいところを抜いて文を続けます。

сбѣдн ꙗꙋ бѣз мѣз мѡпнѣ ꙗꙋ なぜ君はあそこにいたの？

сѣѣѣи dn d33б3юѣ 彼はいつ寝ているの？

この課の単語

ԵՒ ああ (間投詞)	շյու 翠 ^{せん} (人名)
օբթյաւսիւիւմ 異世界人	շինոց 持つ
ծկումսաց どんぐり	յոչն 嫌う
ծկումեի バネアート (お菓子の一種)	շոխ 好む、愛する
ըմբռն 理解する	ըմբռն, なるほど (間投詞)
վրպելում 料理する	ծէջ お茶
շնչի 文字	շնչալեզու リパライン語
շունիք 時間	յուր 小説
շնիշնչում 無数の	նոստ 虫
ըշխարհ 注文する、命令する	շոքում お菓子
քիմի コーヒー	մեծքան 箱
վնդ 本、書籍	իմ ペン
ինքն 紙	ԾՉԵՅ 寝る

2 練習問題

練習問題 Γ

Γ. リパライン語に訳しましょう。

Γ) 彼は学生だ。：() *иd пиdипюиѳь*. ㊦) 私は病気だ。：() *иd нdпнию*.

㊦. リパライン語に訳しましょう。

Γ) 私は医者だ。：ʒn () *збюпнѳзуѳь*. ㊦) 彼女は教師か？：zn () *пбюипнѳѳь*

Ⓢ. () 内の単語を呼格にしましょう。

Γ) ʒnzn, (*музнѳзбь*)ѳ ㊦) дбзбѳѳь, (*дбххуѳь*). Ⓢ) цип, (зэ)i

練習問題 ㊦

Γ. かっこ内の単語を使ってリパライン語に訳しましょう。

Γ) あそこに誰かいます。：(ʒэз, *мцпнѳь*, *рбдмбь*, *мбз*)

㊦) 彼は今家にいる。：(нэ, *шндипд*, юэ, *мбз*, дн)

Ⓢ) 川の中に石がある。：(*ицэди*, *иэмь*, ʒэз, *мбз*)

2) 冬にはここは寒くなる。：(*рнѳзи*, *мпзюбѳь*, нд, *мбз*, *мжбь*)

㊦. かっこ内の単語を使って(必要な時は活用させて)、リパライン語に訳しましょう。

Γ) 彼女は16歳です。：(*иd*, Гd, zn, *збѳрбь*)

㊦) 私はパンを二つ持っている。：(ʒn, жб, *зиинмь*, *эюнимь*)

Ⓢ) 100 レジュ紙幣が三枚ある。：(*зиинмь*, Ⓢ, *зиѳь*, ʒn, *цимунѳи*, Г00)

Ⓢ. かっこ内の単語を使って(必要な時は活用させて)、リパライン語に訳しましょう。

Γ) ユーゴック語の本を読もう。：(*бпѳбюип*, *бпѳбюипнѳз*, *нѳцэпп*, *зизэ*)

㊦) この人を探そう。：(*збѳибь*, *дизмунѳи*, *зизэ*, *мжбь*)

Ⓢ) 家で寝よう。：(*зизэ*, *шндипд*, *дзбзю*, *мбз*)

練習問題 Ⓢ

かっこ内の単語を使って(必要な時は活用させて)、リパライン語に訳しましょう。

Γ) 人々はなぜ生きるの？：(*юпицэш*, *сбѳѳь*, *збѳибь*) ѳ

㊦) 彼女はいつここに来ますか？：(zn, *мбз*, *пзпи*, *сбѳѳь*, *мжбь*) ѳ

Ⓢ) あなたは今どこで何をしていますか？：(зэ, *сбѳѳь*, *мбз*, *сбѳѳь*, *иd*, юэ) ѳ